

他者と協働し、主体的に学び続ける児童の育成
 ~発達段階に応じた自律的で協働的な学び(自学スタイル)の充実

学校で基礎的な学力をつけきる

基礎・基本

学びに
向かう力

協働する力

授業外で

- ・朝の時間の活用
- ・すきま時間の活用
- ・放課後の補充

非認知能力の育

- ・やり抜く力
- ・コミュニケーション
- ・リーダーシップ

授業づくり

発達段階に応じた自律的で協働的な学び(自学スタイル)の充実

高学年

自ら学び続ける主体性をさらに高める

- ・試行錯誤し思考力を身に付ける問題に取り組む
- ・協働し、深く考えるための説明課題

中学年

基礎を固め、自律と協働の学びを経験する

- ・自律と協働の学びを教師の介入のもと経験
- ・やり切る習慣
- ・教師の見取りと働きかけのための説明課題

低学年

自学に向かう基礎的な力と習慣をつける

- ・読み、書き、計算
- ・他律のうちにつけておきたい習慣
- ・自立に向かうための習慣
- ・模倣、補充を繰り返し、自分の理解を整理するための説明課題

教員のスキルアップ

・学習環境デザインの構成力

(発達段階に応じた自学と協働を組み合わせた授業、定着までを入れ込んだ授業、児童自身の学びの振り返りを授業内に位置付ける)

・教材の本質をつかむ力・見取り、働きかける力

校内環境整備

- ・自主学習スペースの確保
(校内は静かに行動)

- ・縦割り班活動、児童会等の自治的活動による自主自立の学校づくり

育ちと学びをつなぐ

保小連携

- ・聴く、話す、あいさつ、読書など、人とのかかわりを通した言葉の育ち
- ・つまづきの把握、支援、指導

家庭で自律性を高める

選択制家庭学習

親子で選ぶ家庭学習 3タイプ

- A: 提出しない(必要があれば学ぶ)
- B: 今日の学び直しや予習をして提出する
- C: ドリル中心の出された学習をして提出する

メディア
コントロール

- ・1日30分間
(午後9時まで)
- ・親子共に
- ・早寝